

目標達成計画

事業所：グループホーム幸豊ハイツ・ほのぼのⅡ

作成日：平成 24 年 5 月 2 日

市町村受理日：平成 24 年 5 月 2 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	ホーム敷地内の法人施設で、非常災害時における食糧の備蓄はされているが、ホーム独自の備蓄がないことにより、緊急時に不安がある。	非常災害時における食料及び生活用品をホームで備蓄することで、非常災害時における備えを万全にする。	3日分以上の備蓄食料を準備し、また非常災害時における生活用品はすぐに使用できるように一箇所にまとめて保管する。	3ヶ月
2	10	こまめに面会時や電話にて御家族の意見・ご要望を伺いケアに反映させているが、運営推進会議については代表者1名のみのお出席であることから、全てのご家族が気軽に出席の出来る体制作りが必要である。	運営推進会議の予定は事前にご家族へお伝えし、気軽に出席出来ることを働きかけて行く。また遠方のご家族にはなるべく負担をかけないよう配慮した出席の働きかけを行う。	広報誌を通して運営推進会議の日程についてご家族へお伝えし、家族会（年2回）で運営推進会議を同日開催することで、遠方の家族が出席し易いよう配慮する。また、参加出来ないご家族については議事録を送付し、取り組み内容についての周知を図って行く。	6ヶ月
3	33	法人内や内部研修で知識の習得はしているが、重度化や看取りについての経験をした職員が少ないことにより、更なる知識や技術の向上が必要である。また、その内容についてご家族と具体的に話をする機会が少ない。	今後も重度化や看取りについての知識や技術の向上の為に、内部研修は継続して行ない、外部研修にも積極的に参加する。また、ご家族とも状態に応じたケアや思いについてお互いに確認出来る機会を設ける。	知識・技術面については職員の知識・技術の習熟レベルに応じた研修に参加できる機会を設けて行く。またご家族との今後に向けた具体的な話し合いについては、今後予測される状態の変化を前提に、ご家族の要望を取り入れることで、情報が共有し易い環境を整えていく。	12ヶ月
4					
5					

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。